

ふくろい5330運動実行宣言書

私は、可燃ごみ削減プロジェクト～ふくろい5330運動～の趣旨に賛同し、次の取り組みを行うことを宣言します。

令和 年 月 日

氏名 _____ (代表者) 氏名 _____

氏名 _____ 氏名 _____

氏名 _____ 氏名 _____

(※同居の家族の方は、1枚でまとめて記載できます。
6名以上の場合は、余白に氏名を記載するか、もう1枚宣言書に記載してください。)

袋井市長 大場規之様

1 申請者

- ①住所 〒 _____ 袋井市
- ②電話番号(代表者) _____
- ③メールアドレス(任意) _____

2 宣言項目(取組内容)……これから取り組みたい項目(1項目以上)を選んでチェック☑を入れてください。

※複数選択可

- 宣言①** 「雑がみ」を資源としてリサイクルします
- 宣言②** 「プラスチック製容器包装」を分別し、燃やせるごみに出しません
- 宣言③** 「生ごみ」を減らします (実践する取り組みにチェックを入れてください。)
- 「生ごみ」を水切りし、水分量を減らします
- 食品の食べきり、使い切りをし、「食品ロス」を減らします
- 生ごみ処理機や生ごみコンポストを活用し、「生ごみ」を減らします

3 希望者には登録証の発行をしています。

希望される方は次の内容に☑を入れてください。

ふくろい5330運動実行宣言の登録証の発行を希望します。

※提供していただいた個人情報を基に、ごみ削減施策や環境施策の推進を図る趣旨に基づき、今後、アンケートにご協力を依頼する場合がありますので、ご承知おきいただきますようお願いいたします。

登録証イメージ



オリジナルトレットペーパーがもらえる!

ふくろい

ごみ

さんまる

うんどう

53



運動

実行宣言キャンペーン開催中

「ふくろい5330運動」とは

「ふくろい5330運動」はごみの排出抑制やリサイクルを推進し、令和12年度までに、基準値(H28～R2平均)から、可燃ごみを30%削減を目指す取り組みです。

「ふくろい5330運動実行宣言」とは

ふくろい5330運動の取り組みを広く周知するとともに、目標の達成に向け、可燃ごみ削減の意識啓発を図るため、5330運動に協力いただく市民を幅広く募集し、「雑がみのリサイクル」や「プラスチック製容器包装の分別」、「生ごみの削減」の取り組みを強化し、可燃ごみの削減を促進するものです。

1 応募要件 (対象)

- ①市内在住であること。(1人1回限り)
②ふくろい5330運動の達成に向け、可燃ごみ削減に取り組む意欲があること。

2 宣言項目 (取組内容)

次の3項目の中から、ご自身が実行を宣言する取り組みを選択してください。

- 宣言①** 「雑がみ」を資源としてリサイクルします
- 宣言②** 「プラスチック製容器包装」を分別し、燃やせるごみに出しません
- 宣言③** 「生ごみ」を減らします

3 応募方法

このリーフレット外側の様式(ふくろい5330運動実行宣言書)に必要事項を記載していただき、袋井市役所廃棄物対策課・浅羽支所・コミュニティセンターの窓口へ提出してください。Eメール・電子申請でも受け付けています。パソコンやスマートフォンから24時間申請可能です。様式はホームページ(<https://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/soshiki/31/10616.html>)からもダウンロードできます。

※宣言された方全員に、市民の皆さんに出していただいた雑がみを再利用して作られた「ふくろい5330運動」オリジナルトレットペーパー(1人1個)をお渡しします。(Eメール・電子申請でのお申込みの場合は、トレットペーパー引換券を発送いたします。)
※ご応募いただいた際に入力した個人情報は、ごみ削減施策や環境施策を推進する趣旨以外の目的で使用することはありません。



実行宣言ホームページQR

廃棄物対策課 (袋井市新屋一丁目1番地の1 袋井市役所2階)

電話番号0538-84-6057 メールアドレス genryou@city.fukuroi.shizuoka.jp



ふくろい 5330 運動 実行宣言

3つの取り組みとは

運動の目標達成のため、3つの取り組みから選んでごみ削減に取り組もう！

宣言① 「雑がみ」を資源としてリサイクルします

令和4年4月から各自治会の資源回収で行われている「雑がみ回収」では、**汚れた紙以外の全ての紙**が資源としてリサイクルできます。

ごみ箱に入れる前に、雑がみは分別し、資源としてリサイクルしましょう。
※各自治会の資源回収では、令和4年12月からビニール袋やビニールひもでも雑がみが出せるようになり、ますます利用しやすくなりました。



宣言② 「プラスチック製容器包装」を分別し、燃やせるごみに出しません

中遠クリーンセンターに持ち込まれる「燃やせるごみ」のうち、ビニール類は約20%を占めています。そのうち、4分の3がリサイクル可能なプラスチック製容器包装だと考えられており、まだまだ、シャンプーや洗剤の容器などのリサイクル可能な容器が、「燃やせるごみ」や焼却ごみとなる「その他プラスチック」として、出されています。

プラマークのついているプラスチック容器は、リサイクルするのが基本です。また、プラマークがなくても**商品を包装しているプラスチック製のはリサイクルできます**。ごみ箱に入れる前に確認して、プラスチック製容器は燃やせるごみに出さないようにしましょう。

ふくろい5330運動実行宣言キャンペーンの流れ



実行宣言ホームページQR

Step 1 「ふくろい5330運動実行宣言」に応募

1

「ふくろい5330運動実行宣言」に申込みをして、ふくろい5330運動の取り組みの第一歩を踏み出そう。

- 次の3つの方法のいずれかでご応募ください。
- ① 袋井市役所廃棄物対策課・浅羽支所・コミュニティセンターで直接応募
 - ・ 宣言書(裏面)に必要事項をご記入のうえ、各施設へご持参ください。
 - 受付時間:【廃棄物対策課・浅羽支所市民サービス課】
平日の8時30分～17時15分(土曜日・日曜日・祝日除く)
【コミュニティセンター(14カ所)】
9時～17時(月曜日・祝日(祝日が休館日にあたる場合は翌日)除く)
- ② Eメール
 - ・ 宣言書(裏面)に、必要事項をご記入のうえ、Eメールに添付(または、宣言書の必要事項をメールの文書に記載)してください。様式は市ホームページからもダウンロードできます。
 - 送付先: genryou@city.fukuroi.shizuoka.jp
- ③ 電子申請
 - (株)グラファァーが運営する自治体用電子申請サービスを利用して申請できます。パソコンやスマートフォンからグラファァー(Graffer)のページにアクセス・ログインし、申請フォームに必要な情報を入力してください。
 - https://ttzk.graffer.jp/city-fukuroi/smart-apply/apply-procedure-alias/5330
 - ・ ご応募いただいた際に、市民の皆さんに出していただいた雑がみを再利用して作られた「ふくろい5330運動」オリジナルトイレットペーパーを応募ごとに1個をお渡しします。(②Eメール③電子申請の方にはトイレットペーパー引換券をメール送付します。)
 - また、希望者には5330運動実行宣言登録証を発行します。



Step 2 「ふくろい5330運動実行宣言」の取り組みを実践

2

「宣言項目(取組内容)」について、雑がみやプラスチック製容器包装の分別など、5330運動の取り組みに参加し、実行宣言した内容を実践しよう。

Step 3 「ふくろい5330運動実行宣言」の宣言者アンケートの回答

3

取組状況や結果を、「宣言者アンケート」で回答してください。
また、ご家庭で実践している「ごみ削減の取り組み(アイデア)」も教えてください。
・ 宣言者アンケート回答者、先着700人(1世帯1回限り)に「ごみ減量グッズ(生ごみ水切り器または、生ごみ水切り袋お試しセット)」をプレゼントします。
・ ごみ削減の取り組みやアイデアは、広報ふくろいや、市ホームページで、紹介することを予定しています。



「生ごみ」を水切りし、水分量を減らします

生ごみの重量の約60～70パーセントが水分です。**捨てる前にギュッとひと絞**りするだけでも10パーセントの減量効果があります。ちょっとした心がけで、収集運搬・焼却にかかるコストが減り、地球温暖化防止(CO2削減)にもつながりますので、是非取り組んでみてください。
水切りでごみを減らすと、ごみ出しが楽になり、臭いもぐっと減らせます。



食品を食べきり、使いきりをして「食品ロス」を減らします

生ごみの約4割は、「食べ残し」や冷蔵庫の中で消費期限切れとなり廃棄してしまう「食品ロス」だと言われています。**4人家族で換算すると、1か月約5千円(年間約6万円)分**の食品が捨てられており、家計にとっても大きな痛手です。食材は食べる分だけ買って、料理は食べる分だけ作るように心がけてみましょう。
廃棄した食品の値段や量を記録することで、食品ロスの量や食品ロスに繋がりのやすい行動を自覚でき、食品ロスが減らしやすくなります。
無料で簡単に記録できる食品ロスアプリなどを活用すると効果的です。



生ごみ処理機や生ごみコンポストを活用し、「生ごみ」を減らします

生ごみ処理機や生ごみコンポストを活用すれば、生ごみのほぼ100%がリサイクルできます。屋外などで使うコンポストのほか、電気(熱)を使った「乾燥式」や微生物で分解する「バイオ式」などの生ごみ処理機があります。
本年度は、家庭用生ごみ処理機・生ごみコンポストモニター事業として生ごみ処理機のリースや生ごみコンポストの配布を行いますので、自分のライフスタイルにあわせて取り組んでみましょう。

「ふくろい5330運動」の取り組みを広げよう!

宣言をした取り組みを続けるとともに、周りの人と「ふくろい5330運動」や「ふくろい5330運動実行宣言」について伝えたり、話し合いをするなど、可燃ごみ削減の取り組みを広げよう。